



常陽中学校だより No.10 H27.2.16

二月も後半に入りました。三寒四温を繰り返しながら、季節は一步一步、春に向かっていきます。

自己責任(成長へのステップ)朝礼の話から

先週の10日は私学受験、14日は公立推薦試験でした。私学入試結果はもう発表されましたし、公立推薦はもうすぐ発表です。合格発表は悲喜こもごもですが、合格したからといって浮かれたり、傲慢ごうまんになってはいけません。これからが本当のスタートだからです。反対に失敗したからといって自棄やけになってはいけません。いや逆に、失敗した人の方が大切なことを学ぶチャンスかもしれません。というのも、長い人生では失敗の方が成功よりもずっと多いからです。チャレンジをして失敗することは決して恥ずかしいことではなく、成長へのステップでもあります。三年生は受験校を決めるまでにはずいぶんと悩んだことでしょうが、この過程が大切なのです。安易に決めては駄目です。当然、難しいチャレンジをした人は失敗するリスクが高くなります。それを分かった上で自分に足りないところを補うため勉強し、準備をしてきたはずです。その結果が実らなくても着実に成長しています。

反対に、安易で楽な選択をしてしまった場合、合格はしても何もチャレンジすることなく終わってしまいます。自分自身で考えることを放棄している人はいませんか？自分で考えた結果が間違っていたとしても、それは学習をしたことになるんです。成長する絶好の機会を放棄しては実に勿体ない。もちろん、信頼できる人のアドバイスを聞くことは大事です。でも、最後に決断するのは自分自身です。もし、自分が選んだ道で失敗しようそれは自分の責任です。だからこそ、必死になって結果を出そうと努力できるのです。誰かに選んでもらった道ならば、何かあった場合はその人のせいにしてしまうことがあるかもしれません。そんなことでは、努力しようという気持ちも薄れてしまいます。最初から、失敗した時の言い訳を用意しているようなものです。

失敗しても次があります。ヒリヒリするような緊張感の中、努力をして結果を出そうとする行為こそ成長への道のりです。皆さんの先輩で結果を出している人はそんな人です。

尊敬できる人は誰?(朝礼の話から)

今から40年近く前のことですが、私はある企業に就職しました。同期社員は数多くいましたが私と同じ技術系で気になる人物が一人つわものいました。彼の話し方はいつも断定的でした。つまり、言い切るのです。彼は剣道四段の強者でなかなかの頭脳の持ち主でした。しかし、私と同い年であるにもかかわらずあまりにも自信たっぷりの話し方にいささか反発を覚えました。でも、しばらく付き合ってみると彼には尊敬できる先生や先輩が沢山いることが分かりました。こんな努力をすれば、将来はこんな人物になれると分かっていたので自信があったわけです。

その後、私もたくさんの尊敬すべき人物と出会いました。おかげで、自分の進むべき道が分かってきました。さらに、自分の心の持ちよう、これまで見えなかったことが見えるようになったりします。苦しい時、困った時、何かを目標に努力している時は「求める気持ち」が強くなります。

ちなみに人から慕われる一流の人物に共通することは、人間に対する温かい眼差しではないでしょうか。私は誰かを見極めようとする時、その人が立場の弱い人にどんな態度をとっているかを見るようにしています。

皆さんも自分のまわりで、また、本の中で尊敬できる人物を捜しておいて下さい。